

顧客を悩ます難解加工 に挑戦

有限会社 日双工業

京都府
宇治市槇島町十一-97-1

1983年(昭和58年)設立
0774-23-3499

<http://www.nisso-k.co.jp>



代表取締役
辰己 圭司

「断らない、諦めない、いいものを、短納期」を合言葉に材料を問わず、試作、金型部品の設計製作に取り組む。

1社依存からの脱皮

同社は、地元大手機械メーカーの引張り試験機の部品加工・組立として昭和28年に創業。昭和58年に会社設立。当時は売上の70%がその機械メーカーという完全下請け会社であった。20年前に「このままではあかん」と3次元自動プログラミングシステムを導入し、3次元データサービスの業務を始め、現在ではハイエンドの3次元CAD/CAMとマシニングを駆使し、早くから取り組んだ3次元(自由)形状に対するノウハウを味方に大手メーカーの試作開発の仕事を多数手がける。

3次元CAD/CAM加工のアーティスト

現在では、ハイエンドの3次元CAD/CAM 5台・高速M/C5台・M/C2台・高速ワイヤー放電加工機1台と会社規模に比べて多くの設備を有し、「こんなものどうして加工する」という問いかけに3次元加工の経験の深さというノウハウで解決。複雑形状製品も、自社開発による治具を製作し同時5軸制御のマシニングセンターにて切削が可能である。大手精密機械メーカー主催の切削加工コンテストにおいて4回の受賞を誇る。



オオクワガタ
2004年金賞



スズメバチ
2005年金賞



カマキリ
2006年銀賞



卵の殻アート
2008年金賞

進化続ける加工技術

工作機械にインストールするソフトも最良のものをベースに、さらに要望に応じた改変も自在。「ものづくりこそが未来をつくる」を合言葉に、我々が社会に貢献できるものは何かを考え、その為に 変革・向上し続けるテクノロジスト集団でありたいと、日々努力研鑽している。